



団体の概要

概要及び設立時期

日本木材輸出振興協会は、林業事業者、製材等の製造業者、流通業者、輸出商社、森林・木材関係の全国業界組織、自治体等で構成される一般社団法人。日本木材輸出振興協議会（平成16年3月設立）を母体に、平成23年1月26日に設立。

目的

国産材（国内で生産された丸太、加工品及び木造住宅部材等）の輸出を振興するため、

- ① 国産材の輸出拡大に資するための相手国のニーズにあった木材加工技術の調査及び開発等による需要開発
- ② 国産材の輸出に関する国内外の関連情報の収集及び調査研究
- ③ 国産材の輸出拡大に必要なセミナー、講習会の開催等を実施する。

代表者

会長 山田壽夫

会員

（一社）全国木材組合連合会、日本合板工業組合連合会、全国森林組合連合会、ジャパン建材（株）、越井木材工業（株）、協和木材（株）、北三（株）、ナイス（株）、阪和興業（株）、ポラテック（株）、都道府県 他 **全144会員**※

※令和7年5月26日時点

主な取組

業界関係者共通の輸出に関する課題解決に向けた実証等

- 米国への2×4構造用製材（スギ、ヒノキ）の輸出に向けた性能検証に取り組み、設計強度の認可を米国製材規格委員会より取得
- 米国建築関係展示会への出展等を通じ、スギ、ヒノキの性能や特徴の広報活動を実施
- 環境面、コスト面から望ましい輸出木材用ラッピング製品ラッピングシートを検討・試作



米国検査機関でのスギの強度試験
(令和5年11月、米国オレゴン州立大学)



米国建築関係展示会（IBS）への出展
(令和6年2月、米国ラスベガス市)



■ 主な取組（続き）

海外におけるジャパブランドの確立

- 日本産木材製品の輸出ロゴマークを作成し商標登録するとともに普及を推進
- ベトナムのジャパンウッドステーション（JWS）を拠点とし、展示会等を通じて日本産木材の利用促進活動を実施
- 日本産木材製品の技術や品質をPRするためパンフレットや動画を作成・発信



日本産木材製品輸出ロゴマーク
「JAPAN WOOD」



日本産木材製品PR動画「木の国、日本」を
協会ウェブサイトから発信

海外における販路開拓活動

- 中国、韓国、台湾において日本産木材製品の利用促進を図るセミナーを開催
- 中国、韓国、台湾から木材輸入企業を日本に招へいし、国・地域ごとのセミナーや商談会を開催
- 中国、韓国、台湾の展示会に日本企業と連携しジャパンパビリオンを出展



ベトナムベドビルド展示会への出展
(令和6年10月、ベトナムホーチミン市)



韓国展示会（コリアビルド 2024）への出展
(令和6年7月、韓国ソウル市)



日本木材製品利用促進セミナー
(令和6年10月、中国南京市)

輸出促進のためのガイドラインの作成等

- 製材及び保存処理木材の輸出に資する既存規格をガイドラインとして取りまとめ、公開

輸出ターゲット国・地域の市場・規制調査

- 中国、韓国、台湾、米国における最新の木材市場情報を取りまとめウェブサイトから発信
- インド・インドネシア・オーストラリア等における木材市場調査を実施